



POWERED BY AI

ELEVATED BY YOU

Echo PAC

Ultra Edition



vivid

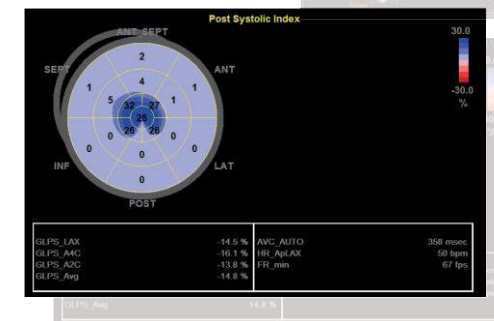
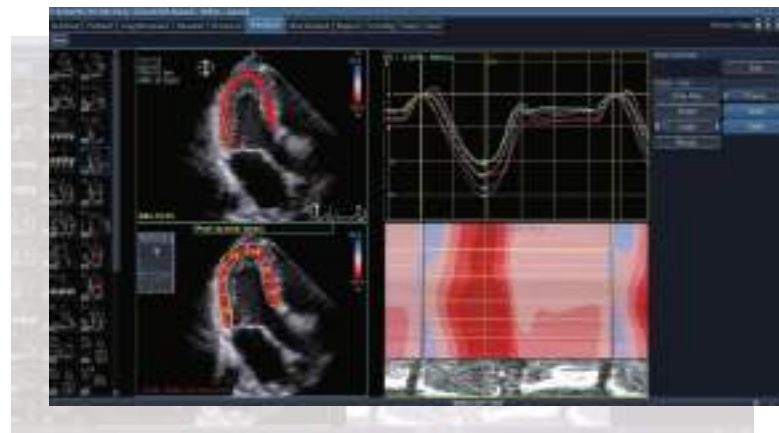
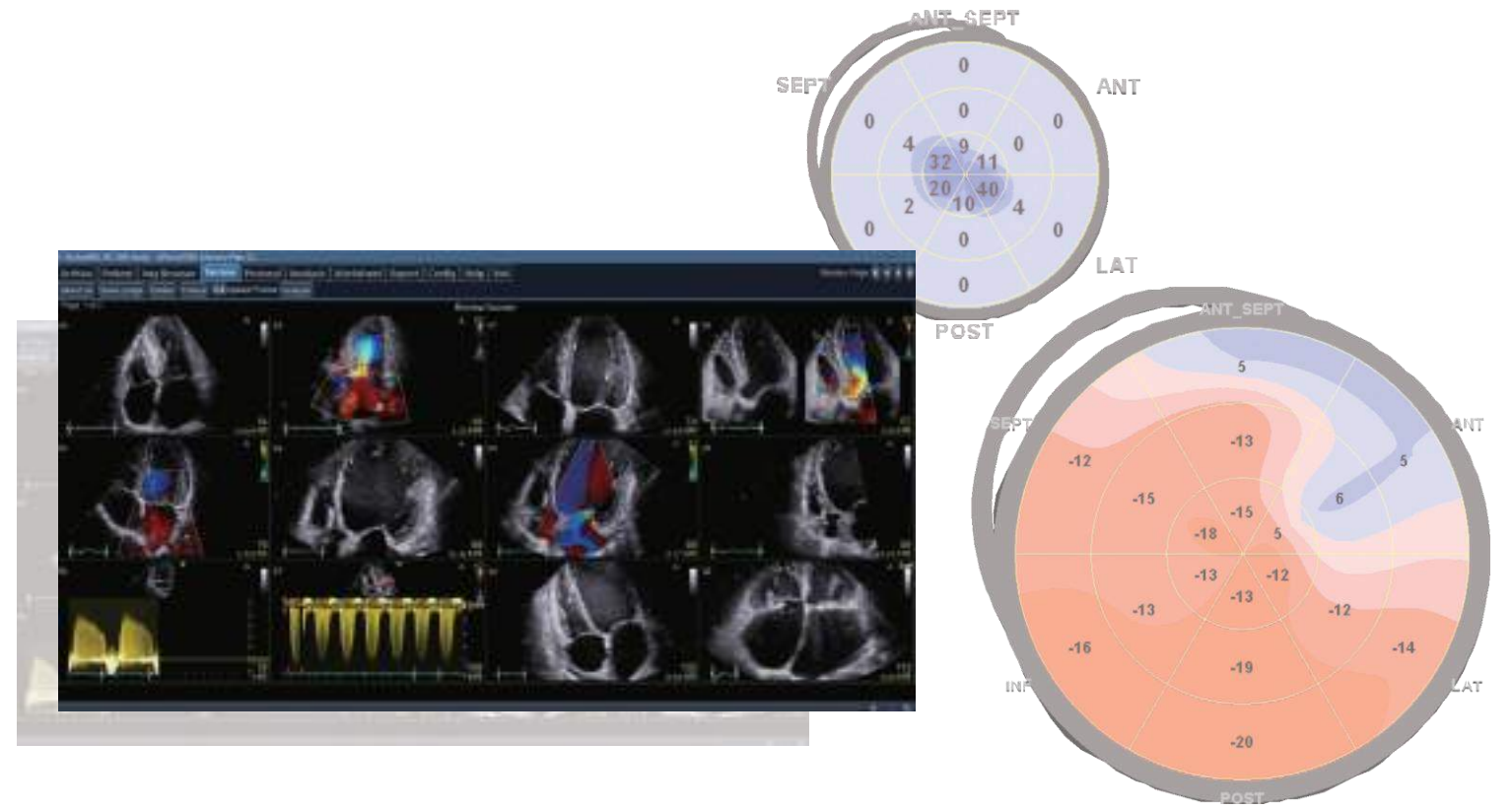
gehealthcare.co.jp

POWERED BY AIとはArtificial IntelligenceおよびDeep Learningを用いて開発したワークフロー向上が期待される一部のアプリケーションを搭載していることを示します。

Work flow that works for you.

エコーラボにワークフローの革新を。

スキャン、計測、評価、レポートング…。
超音波診断装置をめぐる一連のワークフローは、この一台から劇的に変わります。
循環器超音波検査用ワークステーションEchoPAC PCは、
Vividシリーズとの画像のやり取りをはじめ、
データ計測・解析、さらに、画像管理やレポートのストレージなど、
離れた場所から Vividシリーズの優れた性能を十二分に活用することができます。
これまで検査機器1台に依存していた作業が、
これからは時間、場所、経験、専門的技術の壁を越えて、
もっと自由に、もっと生産的に、もっと効率的に行えるようになります。

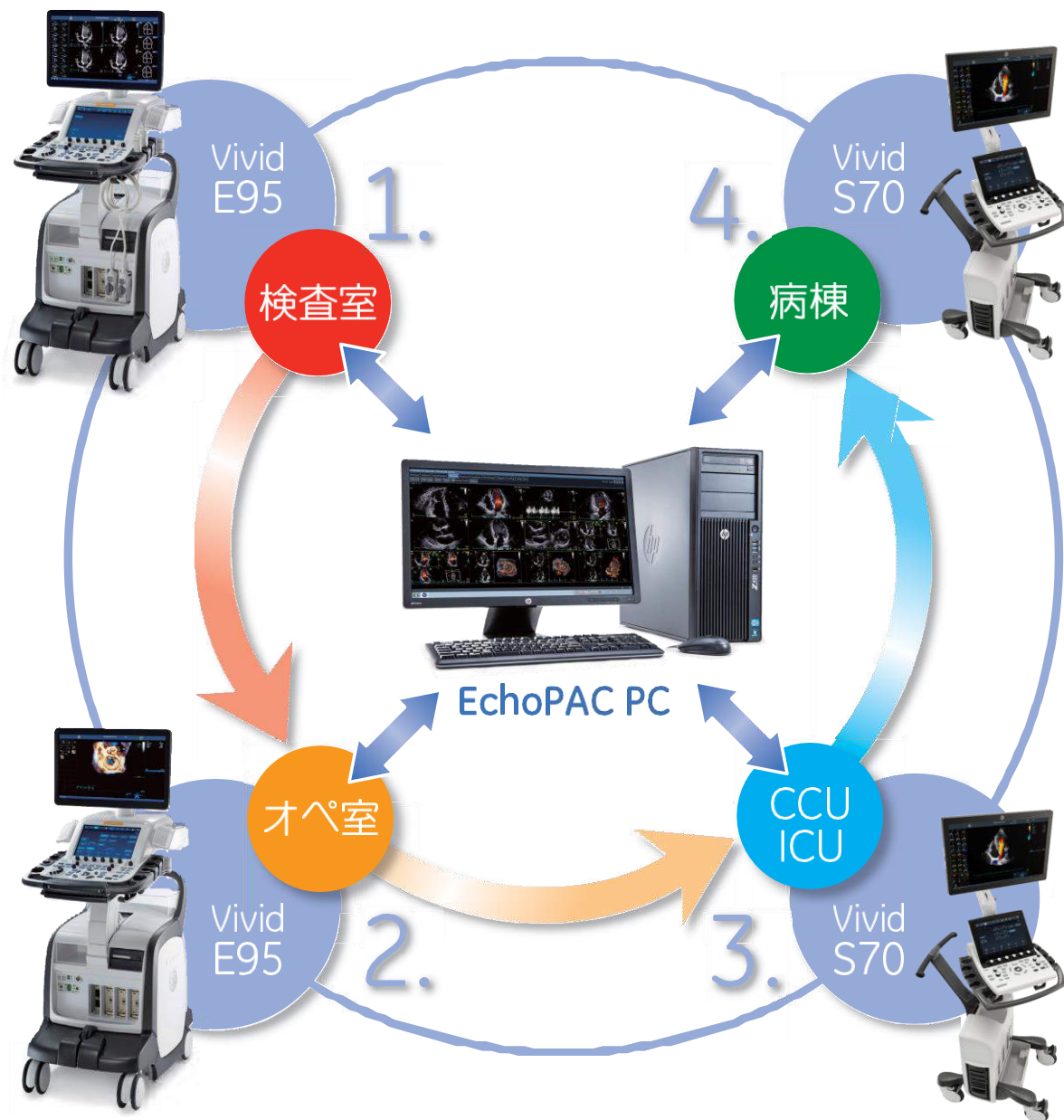


EchoPAC PCによる RAW Data Managementの運用メリット

Networking

画像データベースの共有

循環器内科や検査室はもちろん、オペ室からICU/CCU、ベッドサイドのポータブルまで。Vividシリーズは院内のさまざまな場所で多様なニーズにお応えします。そのVividシリーズの画像を一括管理できるのがEchoPAC PC。複数のVividでデータベースを共有できるので、EchoPAC PC上では言うまでもなく、別のVividで記録した画像を他のVividでレビュー、解析することも可能です。



※EchoPAC 拡張機能(オプション)が必要になります。

※バージョンの差により装置上ではレビューできない場合があります。詳しくは弊社担当者までお問い合わせください。

Disk Management

患者レコードはEchoPAC PC内に保存したまま、データ量の大きい画像データだけをEchoPAC PC内から削除、外部メディアに保存することができます。これにより患者データベースを長期に渡り維持することができます。名前やIDはもちろん、疾患群や検者を記録しておけば、あとからソートすることも可能です。どの外部メディアに保存したかはデータベースに記録されているので煩わしい台帳管理は不要です。大容量のNASに保存すれば外部に保存されていることを意識することもなく、すべての画像データに待ち時間なくアクセスすることができます。



Image Browser

患者の検査履歴をサムネイルで一覧表示することができます。

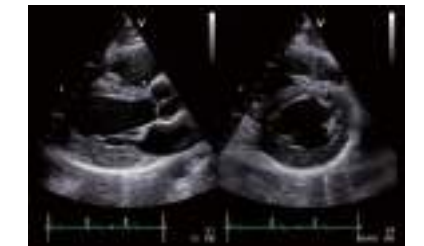
サムネイルを連続してクリックすれば心電同期して1画面表示が可能。たとえば左心室の長軸像と短軸像を1画面で観察することができます。また前回と今回の検査で、Visual EFや逆流量を比較したりといったことも簡単に実施いただけます。



検査履歴画像一覧表示



異なる検査日の画像を心電同期して比較表示

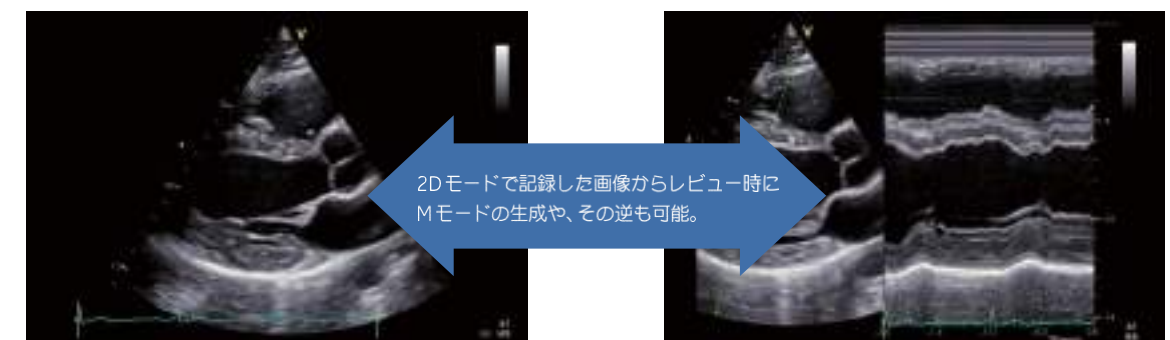


R-R間隔が異なる画像を同期して表示

RAW Data Management

検査の後でも、RAW Dataによる再計測、再解析が可能。

EchoPAC PCにはVividシリーズから超音波信号そのものがデジタルRAWデータで保管されるので、検査後であってもゲイン調整や各種定量解析が可能です。



2Dモードで記録した画像からレビュー時にMモードの生成や、その逆も可能。

*View RecognitionはGEシステムのTTEプローブで取得した画像にのみ適用されます。
Artificial IntelligenceおよびDeep Learningを用いて開発されたワークフロー向上技術



Auto Measure 2D

PLAX 2D断面の左室自動計測を可能に
マニュアル計測による操作時間を短縮できます。



Auto Measure - Spectrum Recognition

適切なドプラ計測項目を半自動で選択します。



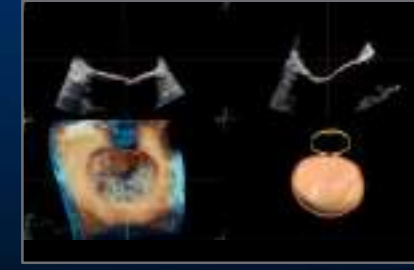
Auto EF with View Recognition

断面認識機能を搭載したAuto EFは、左室容積と駆出率の半自動定量化を提供します。



4D Auto AVQ

境界面自動抽出アルゴリズムを用いた定量化ツール。ボリュームデータから大動脈の径、周囲長、面積が自動計算されます。



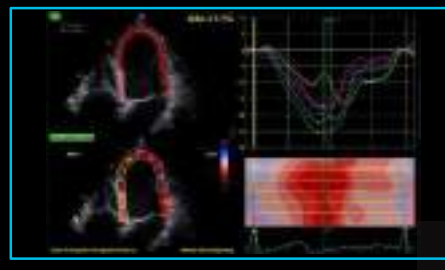
4D Auto MVQ

ボリュームデータから僧帽弁の形態を半自動的に定量解析



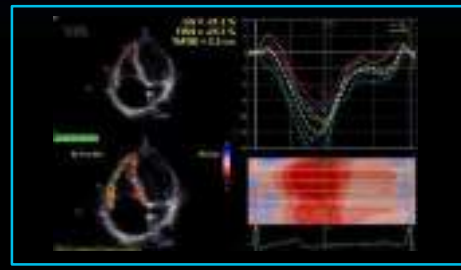
4D Auto TVQ

半自動化された4Dツールは、三尖弁の解剖の迅速な可視化と定量化を可能にします



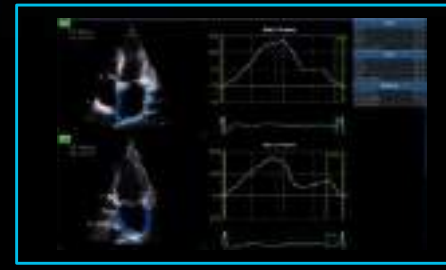
AFI LV with View Recognition

*View RecognitionはGEシステムのTTEプローブで取得した画像にのみ適用されます。
断面認識機能を搭載したAFI LVは、左心室の全体的なGLSとセグメント毎のストレインを半自動で定量化します。



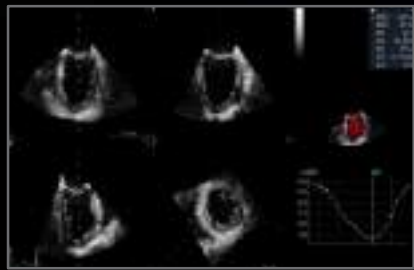
AFI RV

AFI RVは、スペクトルトラッキングを用いて右心室機能を評価するための新しいツールです



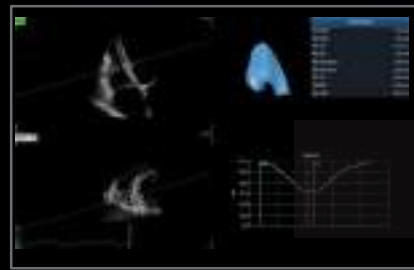
AFI LA

AFI LAは、スペクトルトラッキングを用いて左心房機能を評価するための新しいツールです



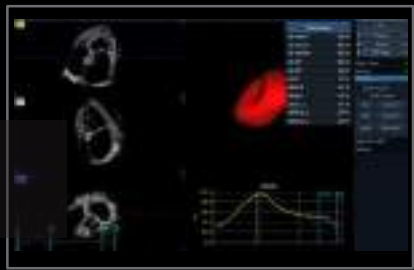
4D Auto LVQ

自動的な境界検出に基づいて左心室ボリュームと駆出率を推定します



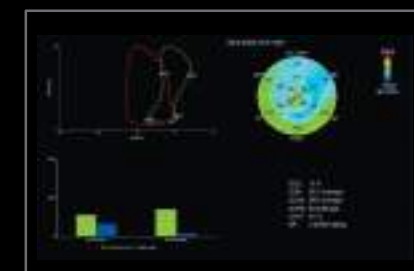
4D Auto RVQ

ボリュームデータから右心室の容積、駆出率、TAPSEを算出。



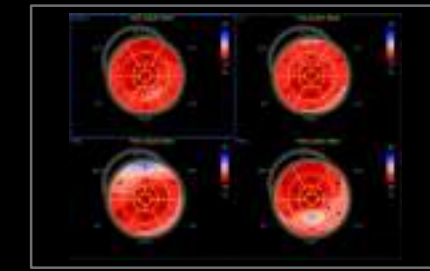
4D Auto LAQ

半自動的なアルゴリズムにより定量的なデータを臨床の現場に提供。
左心房のボリュームやEF, Longitudinal及びCircumストレインを算出します。



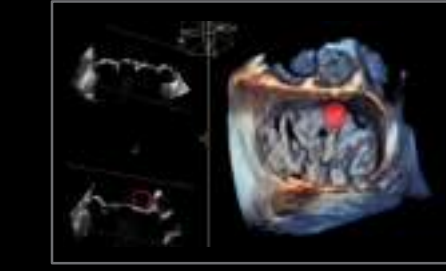
MyoCardial Work

新しい、負荷依存性の低いパラメータエコー検査の直前に安静時に測定した収縮期血圧、およびMVとAVの開閉時間を考慮し、AFI (ストレイン) で得られた結果に基づいています。



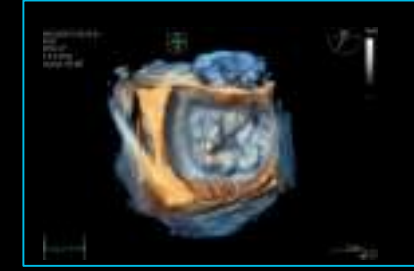
AFI Stress

あらゆる負荷での左室壁運動を定量化します。



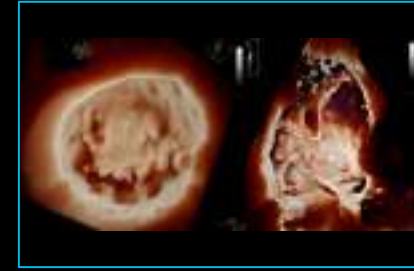
4D Marker

ボリュームデータ上にアノテーションやマーカーを入れられます。
画像を回転、拡大してもマーカーが追従し共通の認識を持つことが容易となります。



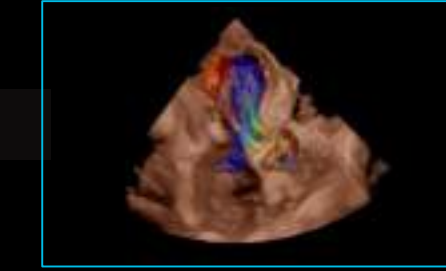
HD Live

任意方向に仮想光源を設けることで奥行き方向の表現力が向上し、さらなる立体感を実現したHDLive。
リアルな表現で解剖の把握をサポートします。



FlexiLight

フォトリアスティックな仮想光源を用いた心臓構造明瞭に診断するためのレンダリング技術



HD Color

高速ジェットの発生源と大きさを半透明に可視化する4Dカラーフローレンダリング技術
- 血流と構造物との空間的な関係性を高める
- 非診断的な低速血流情報を抑制



オプション

ストレイン、TSI機能
4D Auto AVQ
4D Auto MVQ
Auto RVQ
Myocardial Work
AFI Stress
DICOMメディアビューア
4D Auto LAQ
4D MARKER
4D Auto TVQ
HDlive
AFI拡張パッケージ
2Dストレイン
EchoPAC拡張機能
4D構築機能/オンライン解析機能

ハードウェア

ノートブックEchoPAC PC用HW
デスクトップEchoPAC PC用HW

アップグレード

EchoPAC SWO Ultra Edition アップグレード

製造販売 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
超音波画像解析装置 EchoPAC PC
医療機器認証番号 21600BZY00637000
※ EchoPAC Ultra Editionは特定のオプションを搭載した
上記医療機器のニックネームです。

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Vivid E95
医療機器認証番号 227ABBZX00035000

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Vivid S70
医療機器認証番号 226ABBZX00155000

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Vivid iq
医療機器認証番号 228ABBZX00125000

販売名称 汎用超音波画像診断装置 Vivid T9
医療機器認証番号 226ABBZX00081000

記載内容は、お断り無く変更することがありますので御了承ください。

Imagination at work

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
カスタマー・コールセンター 0120-202-021

D21B13 JB00637JA